

## 宗像市のオンデマンドバスを視察

現在、町では、福祉巡回バス「ハピネス号」が2台（1日4コース・4便）運行されている。町は運行形態等について適宜見直しを行い、地域交通の確保に努めてきたが、利用者は減少する一方で経費が増大となるなどの課題があり、改善に向けた検討を進めてきた。

その取組の一つとして、オンデマンドバス導入の調査研究が行われ、7月12日に当常任委員会は宗像市を視察した。

オンデマンドバスは、AI(人工知能)が予約状況に応じて、効率的な運行ルートを考えながら走る乗り合いバスで、利便性の向上や利用者の増加につながるものと期待されている。

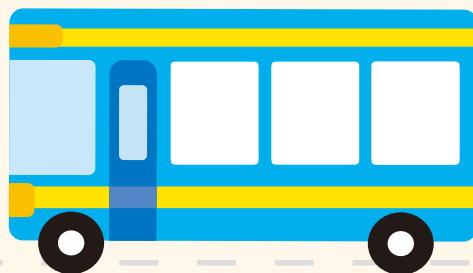
今後は、新たに設置される宇美町地域公共交通会議において、持続可能な公共交通のあり方などについて協議が行われる。



オンデマンドバスに試乗



スマートフォンアプリの説明



## キャッシュレス決済推進事業による活性化

まちづくり課報告

コロナ禍を踏まえ、スマートフォンのアプリ(PayPay)を活用して、地域活性化(ポイント還元)キャンペーンを実施(国の新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金を活用)。

キャッシュレス決済の導入により、会計時の接触感染を防止するとともに、町内における消費を喚起し、新しい生活様式における商工業の活性化を図るもので、キャンペーンは9月の1か月間実施され、好評につき、9月定例会にて追加補正予算を可決した。また、第2弾キャンペーンの補正予算を10月臨時会で可決した。

コロナに負けず、宇美町を元気に!

